

「生活道路対策エリア」の取組事例（うるま市石川1丁目地区の事例）

いしかわ

ゾーン30明示
路肩カラー舗装

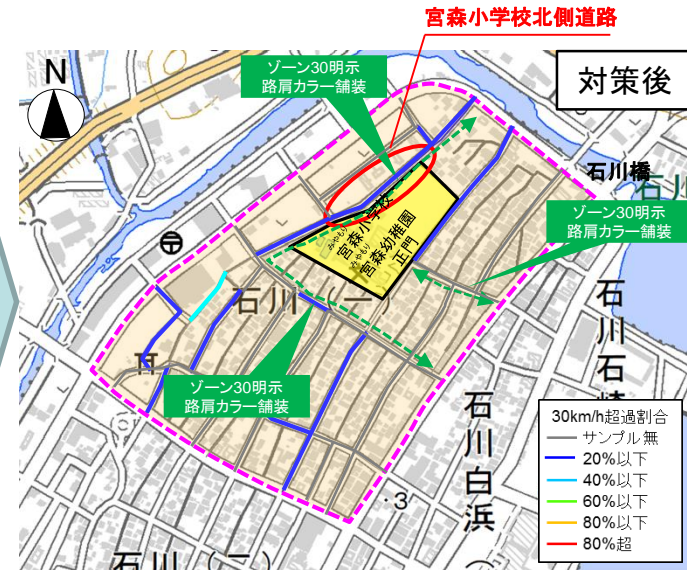
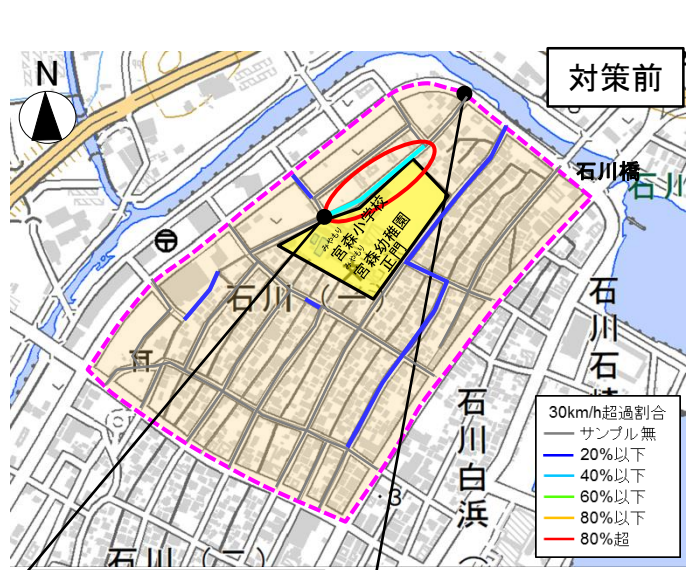
- 生活道路対策エリア(うるま市石川1丁目地区)では、宮森小学校の通学路区間において石川橋付近の渋滞を避けるための抜け道として利用する車両が多く、抜け道対策としてゾーン30の指定及び通学路の路肩カラー舗装を実施。
- 通学路安全推進協議会を4回開催(第4回:H30.10開催)、PTAや地元住民(区長など)と協働で対策を検討。
- 対策前後の30km/h超過割合は、エリア全体及びカラー舗装区間では微増であるが、宮森小学校北側道路では下がっている。

取組概要



- 通学路安全推進協議会の開催
住民、学校関係者及び関係機関の協働で安全推進協議会を開催し、現地での合同点検の実施・対策を検討
H28.2 : 生活道路の現地点検、問題点を共有
H30.1 : 対策計画決定・対策着手
H30.8、10 : 再点検、問題点の共有

ビッグデータ分析結果



生活道路対策エリア

資料:ETC2.0プローブデータ(対策前:H29.4~H29.7、対策後:H30.4~H30.7)

整備状況



整備効果

○速度指標の変化状況

	30km/h超過割合		
	エリア全体	カラー舗装区間	宮森小学校北側道路
対策前	6.3%	14.3%	25.0%
対策後	12.5%	15.0%	18.2%
	(+6.2%)	(+0.7%)	(-6.8%)

【出典】1.履歴点データ:ETC2.0プローブデータ(対策前:H29.4~H29.7、対策後:H30.4~H30.7)
2.背景地図:国土地理院